



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社エージェンツ・インシュアランス・グループ 上場取引所 名
 コード番号 5836 URL <https://a-gent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一戸 敏
 問合せ先責任者 (役職名) 専務上級執行役員 (氏名) 高橋 真喜子 TEL 03-6280-7818
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,684	—	32	—	31	—	20	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 31百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	8.88	—
2022年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2022年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,976	1,131	57.2
2022年12月期	1,904	1,095	57.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,131百万円 2022年12月期 1,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,767	15.3	276	40.2	276	47.1	186	66.0	80.36

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	2,323,000株	2022年12月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	23株	2022年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	2,322,340株	2022年12月期2Q	—株

(注) 2022年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、2023年5月8日の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴いより一層行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進みましたが、引き続き金融市場の変動による影響や不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や物価の上昇等、未だ先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは持続的な成長を実現するため、国内・海外とも、引き続きWebによる面談、コンサルティング等を積極的に取り入れるとともに、AIやIT技術を活用したデジタル接点の強化を図り、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は1,684,714千円、営業利益は32,417千円、経常利益は31,827千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,624千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内事業

国内事業においては、当社のビジネスモデルの根幹である事業承継の取り組みが順調に推移し、中部地方初の出店として2023年5月8日に愛知県に愛知支店を開設いたしました。事業承継の効果として、合流前の保険募集人が取り扱っていた保険契約を譲り受けたことにより、損害保険の売上が順調に推移いたしました。また、合流した保険募集人に対する生命保険提案スキルの育成に積極的に取り組み、損害保険のご契約者様に対する生命保険のクロスセルの強化を図りました。また、合流する保険募集人を「保険代理店支援プラットフォーム」を通じて支援する組織体制・運営体制の強化を図るため、人員の増強や保険診断アプリ「ほけチョイス」の開発等のシステム強化に積極的に取り組みました。

この結果、同事業の当第2四半期連結累計期間における営業収益は1,555,322千円、セグメント損失は2,239千円となりました。

② 海外事業

米国においては、新規保険獲得件数が増えたことや、既存の法人顧客の売上拡大に伴う保険料の増加、既存の法人顧客・個人顧客へのクロスセルなどにより、営業収益及び利益が大幅に増加いたしました。今後もローカルマーケットの新規開拓に注力いたします。

この結果、同事業の当第2四半期連結累計期間における営業収益は129,392千円、セグメント利益は34,066千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,473,734千円となり、前連結会計年度末に比べ59,101千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が50,952千円増加したことによるものであります。

固定資産は503,180千円となり、前連結会計年度末に比べ13,153千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加14,644千円によるものであります。

この結果、総資産は、1,976,915千円となり、前連結会計年度末に比べ72,255千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は564,848千円となり、前連結会計年度末に比べ108,044千円減少いたしました。これは主に営業未払金が67,640千円減少したことによるものであります。

固定負債は280,995千円となり、前連結会計年度末に比べ144,864千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加144,377千円によるものであります。

この結果、負債合計は、845,844千円となり、前連結会計年度末に比べ36,819千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,131,070千円となり、前連結会計年度末に比べ35,435千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が20,624千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.2%（前連結会計年度末は57.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は997,027千円となり、前連結会計年度末に比べて50,952千円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は33,295千円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益33,466千円、減価償却費40,283千円、預り金の増加額18,804千円などによる資金増加から、営業未払金の減少額65,946千円、法人税等の支払額30,261千円、未払消費税等の減少額28,190千円などによる資金減少があった結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は53,184千円となりました。これは、車両の有形固定資産の売却による収入4,303千円などによる資金増加から、無形固定資産の取得による支出33,110千円、車両等の有形固定資産の取得による支出21,393千円などによる資金減少があった結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は123,561千円となりました。これは、長期借入れによる収入300,000千円、株式の発行による収入4,121千円などによる資金増加から、長期借入金の返済による支出125,679千円、短期借入金の返済による支出50,000千円、リース債務の返済による支出4,851千円などによる資金減少があった結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表した「2022年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,075	997,027
売掛金	410,403	409,971
その他	58,154	66,736
流動資産合計	1,414,633	1,473,734
固定資産		
有形固定資産	52,882	67,527
無形固定資産		
顧客関連資産	205,704	214,203
その他	163,012	142,675
無形固定資産合計	368,716	356,878
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,672	37,415
その他	40,255	41,859
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	68,427	78,774
固定資産合計	490,027	503,180
資産合計	1,904,660	1,976,915
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	54,542	84,492
営業未払金	374,621	306,981
未払法人税等	39,845	22,609
代理店手数料返金負債	43,158	44,358
その他	110,724	106,407
流動負債合計	672,893	564,848
固定負債		
長期借入金	131,327	275,704
その他	4,804	5,291
固定負債合計	136,131	280,995
負債合計	809,025	845,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,304	336,364
資本剰余金	243,787	245,848
利益剰余金	500,928	521,552
自己株式	—	△28
株主資本合計	1,079,019	1,103,736
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,615	27,334
その他の包括利益累計額合計	16,615	27,334
純資産合計	1,095,635	1,131,070
負債純資産合計	1,904,660	1,976,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	1,684,714
営業費用	1,652,296
営業利益	32,417
営業外収益	
受取利息	13
その他	56
営業外収益合計	70
営業外費用	
支払利息	626
その他	34
営業外費用合計	661
経常利益	31,827
特別利益	
固定資産売却益	1,950
特別利益合計	1,950
特別損失	
リース解約損	311
特別損失合計	311
税金等調整前四半期純利益	33,466
法人税等	12,842
四半期純利益	20,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	20,624
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	10,718
その他の包括利益合計	10,718
四半期包括利益	31,342
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	31,342

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	33,466
減価償却費	40,283
代理店手数料返金負債の増減額 (△は減少)	1,100
受取利息及び受取配当金	△13
固定資産売却損益 (△は益)	△1,950
リース解約損	311
為替差損益 (△は益)	△2
支払利息	626
売上債権の増減額 (△は増加)	8,454
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,190
営業未払金の増減額 (△は減少)	△65,946
未払費用の増減額 (△は減少)	5,443
預り金の増減額 (△は減少)	18,804
その他	△14,828
小計	△2,440
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	△635
法人税等の支払額	△30,261
法人税等の還付額	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△21,393
有形固定資産の売却による収入	4,303
無形固定資産の取得による支出	△33,110
長期貸付金の回収による収入	411
敷金及び保証金の差入による支出	△3,550
敷金及び保証金の回収による収入	145
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△125,679
株式の発行による収入	4,121
自己株式の取得による支出	△28
リース債務の返済による支出	△4,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,870
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,952
現金及び現金同等物の期首残高	946,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	997,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	国内事業	海外事業	合計 (注)
営業収益			
保険代理店事業	1,555,322	129,392	1,684,714
顧客との契約から生じる収益	1,555,322	129,392	1,684,714
外部顧客への営業収益	1,555,322	129,392	1,684,714
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—
計	1,555,322	129,392	1,684,714
セグメント利益又は損失 (△)	△2,239	34,066	31,827

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。